



大好きな、はなちゃん

四年 宮川真緒

わたしの家には、一匹の犬がいます。名前のはなです。はなは、ヨークシャテリアの6才の女の子です。はなは、ホームセンターに行った時に、あまりにもかわいくて、わたしたちの家族になりました。はなは、家に来たばかりの時は、手のひらくらいの大きさでした。でもごはんをいっぱい食べて三ヶ月くらいで、あつというまに大きく成長しました。はなは、来た時からおとなしいせいかくで、ぜんぜんほえません。そのかわり、目とひょうじょうでアピールします。はなは、せなかのところがグレーで、耳のところは茶色で、頭や手足はベージュっぽい色です。

次に、わたしとはなの生活についてしようかします。朝、わたしが二階からおりてくると、ピョンピョンとはねてかわいい顔でよろこんでくれます。また、学校から家に帰って来た時も、ピョンピョンとはねてよろこんでくれます。はなは、お散歩に行くときよくよろこんでいます。おさんぽをするのがうれしくて、時々歩くのが速くなったりします。はなは、ふだんはぜんぜんほえません、チャイムになると、だれか来たよとほえたりしておしえてくれます。私がお母さんにおかれて泣いたりしていると、はながなくさめてくれるので、はながいてくれるとうれしいです。はなは、パン、みかん、りんご

などが大好きです。はなは時々、犬なのにねこみたいに手をなめて、耳をかいたりすることがあります。はなは、おなかをひろげたりしてきたりするので、わたしは、そのどうさが大好きです。はなは、さむい時にはまるまったりしてねるのですが、その時ははなのおなかをさわると、あたたかいです。はなは、夏のすごい暑い時になると、人間のように丸まらないでねます。

わたしは、はながいるのといないのでは、ぜんぜんちがうと思います。はなのおかげで、前よりもっと幸せになっていると思います。はなは、人間ではなくて、ほかの生き物で、血もつながってませんが、わたしたちにとって大切な家族です。はながわが家に来てくれて、本当によかったと思います。これからも、ずっと元気で、長生きしてほしいなと思います。これからもたくさん遊んで、たくさん思い出をつくらせていきたいなと思います。